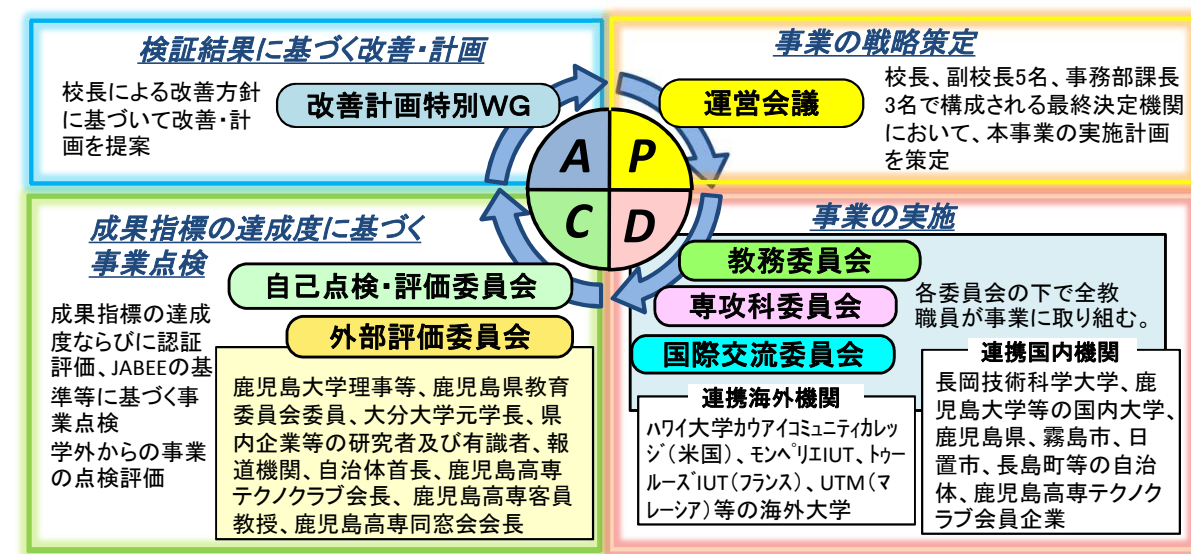




【取組の目的、内容】

近年の技術動向を踏まえた新たな枠組みによる技術教育・研究を行い、その国際化を通じて「第4次産業革命」など今後の産業構造、社会構造の変化とグローバル化に対応し、新産業分野を牽引する技術者育成のためのシステムを構築する。すなわち、①あらゆる技術分野で必須となる情報・数理、ネットワークに関する共通教育化、②工学基礎教育の共通化、③地域ニーズの高い情報工学、メカトロニクス、環境工学に重点を置いた専門教育体制の整備、④海外インターンシップ、海外大学等との教育・研究連携を通じた世界に通用するイノベーション創生能力の育成を図る。

【実施体制】



【工程表】

項目	期間	H29年 7月～	10月～	H30年 4月～	10月～
国際化の加速・推進		実施WGを立ち上げ、事業開始	海外大学との連携プログラムの試行及び評価	H29年度実績の検証に基づくプログラムの改善、試行	改善したプログラムの評価と成果のまとめ、改善
新産業を牽引する人材育成		新たな分野の研究グループによる研究計画の策定	連携国内外大学との協働教育・研究による特別・卒業研究の成果の評価	H29年度実績の検証に基づく専門教育体制の改善	改善した専門教育体制による特別・卒業研究の成果の評価と成果のまとめ、改善
教育体制・教育課程の刷新		本事業の概念に沿った教育体制・教育課程の検討	地域の産業界の人材に関するニーズの調査	新教育体制・課程案の作成	新教育体制・課程案の評価と改善、改組案の策定

【成果指標】

- 海外の大学等と学術交流協定に基づいた連携教育プログラムの実施：0件（H28）→4件（H30）
- 新たな分野（ロボティクス、環境工学、生体・情報等）の研究テーマに取り組む学生数の増加：0名（H28）→32名（H30）



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

○本事業は、教育体制・教育課程全体を刷新するという全学的な取り組みであり、国際化に対応し、新産業を牽引するシステムを構築したうえで平成32年度に改組を実施し、その既存の学科等とは異なる新たな技術教育体制を学校説明会等で広くPRすることで、志願倍率を平成29年度の1.4倍から1.5倍に増加させる。